

# 週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

&lt;先週の説教から&gt;

『ルカ ① - 私たちの間で実現したこと』

武田真治牧師

イザヤ書 40:6-11 ルカ福音書 1:1-5

『ルカによる福音書』を読み始めます。この福音書は《前書き》がある点でユニークです。そこでは、何を、誰に対して、どのような目的で、書き進めて行くかが記されています。

先ず”何を”については「わたしたちの間で実現した事柄について」書きますと。これは”身近で実際に起こった出来事”を記すので、決して作り話や架空の話ではないという意味です。この点は次の「最初から目撃して御言葉のために働いた人々（＝弟子たち）が伝えたとおり」と、たくさんの証人がおり、更に「(このような書を)多くの人が既に手を着けています」と続きます。既にマルコ福音書やイエス様の言葉集等が存在していたと。つまり、決して自分だけの思いや考えで勝手に書いていることではないということですね。

そして”誰に対して”かが次の「そこで、敬愛するテオフィロさま、わたしもすべての事を初めから詳しく調べていますので、順序正しく書いてあなたに献呈するのがよいと思いました」です。意外なことに、どこかの教会とか集まりへ向けて書かれた文書ではなく、たった一人の人物のためにこの福音書は書かれたというのです。このテオフィロという人物の名前は、ギリシア人のもの（＝意味は「神の友、神に愛された者」）であり、その尊称（＝「敬愛する」を、他の翻訳では「テオフィロ閣下」と訳しています）から、ローマの高官または地方総督（＝今の知事）だと想定されています。

そして”何のために”か？ それが次の「お受けになった教えが確実なものであることを、よく分かっていたいただきたいのであります」です。それ故、ひとつの理解は、ローマ政府から公式にキリスト教の信仰について弁明するように言われて、「わたしたち＝教会」の代表としてルカが弁明書を著したのがこの書だという説もあります。

ただ、もう一つの説は、「お受けになった教え」の「教え」原語は（カテケシス＝上から教える）という言葉で、後に

《カテキズム＝信仰問答・洗礼準備》になった言葉ですから、テオフィロは信者なるための教育を「受けていた」と、ただし、その社会的な地位や環境から、まだ洗礼を受けるところまでは行っていなかったと。それ故「よく分かっていたきたい」から、改めて「初めから詳しく」順序立てて書きますから、決意してほしいと書かれたと。どちらでしょうか？

ただ、ずっと読んでみれば分かりますが、単なるキリスト教についての客観的な報告だとはとても思えません。イエス様への熱い思いを感じますし、特に“聖霊の導き”（＝もうひとつの彼の著作である『使徒言行録』が特に多い）という言葉がよく出て来ることなど、伝道のためであったと思えます。すごいと思うのは、たった一人の人物を導くためだけにこれだけの書物が書かれた！まさに“伝道の熱意”です！

\*\*\*\*\*

## 【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 I. 1月31日(水) 20:00  
II. 2月1日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルグ信仰問答  
祈祷主題: 教会委員会を覚えて  
担当者: (水)伊藤 (木)小林  
祈りに覚える人: 羽倉さん 北條さん

## 【教勢報告】

主日礼拝 男19 女43 計62  
祈祷会 I. 男4 女3 計7 II. 男1 女8 計9  
日曜学校 幼稚科8 小中科12 計20  
ひつじ雲の会(1月23日(火)) 男0 女5 計5

## 【次週主日礼拝】 2月4日(日)

聖書: ダニエル書 9:20~27  
ルカによる福音書 1:3~13  
説教: 「ルカ② - あなたの願いは聞き入れられた」 武田真治牧師  
讃美歌: 127(1)、32、54(1~5)、479(1~2)、521(1~4)、78(1~2)、83(1)

## 【次週当番表】

司式:岩佐長老 奏楽:勝村 礼拝:茨木長老  
配餐:金刺 金刺 齋藤 坂田 各長老  
献金:東 阿部 受付:西尾 森本  
会堂準備:浅井 阿部 齋藤 山田  
看板:保坂 週報:岩佐 お花:森本

## 【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会  
礼拝後: ・牧師と語る会 ・お茶の会  
・長老会 ・会堂管理委員会

2024年 1月 28日

日本キリスト教団 上尾合同教会  
牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&amp;FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>